自己評価結果表【タイプB】（乳児院）

共通評価基準（45項目）Ⅰ　養育・支援の基本方針と組織

1　理念・基本方針

（1）　理念、基本方針が確立・周知されている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	18	10	0	28	a	明文化はされているが、周知されていることが知られていない。
		64%	36%	0%	100%		

2　経営状況の把握

（1）　経営環境の変化等に適切に対応している。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	10	16	2	28	b	法人として取り組めている。
		36%	57%	7%	100%		
②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	8	17	3	28	b	(C)人員不足を強く感じるが解決されていない。
		29%	61%	11%	100%		

3　事業計画の策定

（1）　中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	16	12	0	28	a	
		57%	43%	0%	100%		
②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	13	15	0	28	b	
		46%	54%	0%	100%		
（2）　事業計画が適切に策定されている。							【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	11	16	1	28	b	C:改善はされているものの、組織的な振り返りができていない。
		39%	57%	4%	100%		
②	7 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	5	18	5	28	b	入所時に説明するようにしている。
		18%	64%	18%	100%		

4　養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

（1）　質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	6	20	2	28	b	
		21%	71%	7%	100%		
②	9 評価結果にもとづき施設として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	5	21	2	28	b	C:以前と変わらず、改善がされていない。
		18%	75%	7%	100%		

Ⅱ　施設の運営管理

1　施設長の責任とリーダーシップ

（1）　施設長の責任が明確にされている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	8	17	3	28	b	C:方針がはっきりしない
		29%	61%	11%	100%		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	11	14	3	28	b	
		39%	50%	11%	100%		
（2）　施設長のリーダーシップが発揮されている。							【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	7	18	3	28	b	C:はっきりと方針を示してほしい
		25%	64%	11%	100%		
②	13 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	6	19	3	28	b	C:職場をまとめられていない
		21%	68%	11%	100%		

2　福祉人材の確保・育成

（1）　福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	6	17	5	28	b	C:人が足りていないように感じる。
		21%	61%	18%	100%		
②	15 総合的な人事管理が行われている。	6	19	3	28	b	
		21%	68%	11%	100%		
（2）　職員の就業状況に配慮がなされている。							【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	4	21	3	28	b	超過勤務を頼まれることが多い。
		14%	75%	11%	100%		
（3）　職員の質の向上に向けた体制が確立されている。							【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	6	20	2	28	b	
		21%	71%	7%	100%		
②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	8	19	1	28	b	
		29%	68%	4%	100%		
③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	10	18	0	28	b	
		36%	64%	0%	100%		
（4）　実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。							【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	10	18	0	28	b	受け入れを開始したが、コロナで受け入れが出来ないときもあった。
		36%	64%	0%	100%		

3　運営の透明性の確保

（1）　運営の透明性を確保するための取組が行われている。		a	b	c	計		【判断した理由・特記事項等】
		自己評価結果					
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	18	10	0	28	a	ホームページ、ブログを開設している。
		64%	36%	0%	100%		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	17	11	0	28	b	
		61%	39%	0%	100%		

4　地域との交流、地域貢献

			自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
（1）　地域との関係が適切に確保されている。								
	①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	6	20	2	28	b	
			21%	71%	7%	100%		
	②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	11	17	0	28	b	コロナのため受け入れを停止している。
			39%	61%	0%	100%		
（2）　関係機関との連携が確保されている。								
	①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	12	15	1	28	a	FSWを中心に行えている。
			43%	54%	4%	100%		
（3）　地域の福祉向上のための取組を行っている。								
	①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	6	20	2	28	b	近隣市の子ども子育て会議に施設として参加。
			21%	71%	7%	100%		
	②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	7	19	2	28	b	施設の状況でショートステイを受け入れられないときがある。
			25%	68%	7%	100%		

Ⅲ　適切な養育・支援の実施

1　子ども本位の養育・支援

			自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
（1）　子どもを尊重する姿勢が明示されている。								
	①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	15	13	0	28	a	個人の養育観が強く感じる時がある。
			54%	46%	0%	100%		
	②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	15	13	0	28	a	
			54%	46%	0%	100%		
（2）　養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。								
	①	30 保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	14	14	0	28	b	
			50%	50%	0%	100%		
	②	31 養育・支援の開始・過程において保護者等にわかりやすく説明している。	13	15	0	28	b	離乳食の開始などの時に保護者へ連絡するようにしている。
			46%	54%	0%	100%		
	③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	8	20	0	28	b	要対協・里親ミーティングで引き継ぎを行っている。
			29%	71%	0%	100%		
（3）　子どもの満足の向上に努めている。								
	①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	9	18	1	28	b	C:研修不足により保育のスキルが低下しているように感じる。
			32%	64%	4%	100%		
（4）　保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。								
	①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	13	15	0	28	b	入所時に説明をしている。
			46%	54%	0%	100%		
	②	35 保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	10	18	0	28	b	FSW・里親SW・担当が丁寧に対応している。
			36%	64%	0%	100%		
	③	36 保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	15	13	0	28	a	FSWが中心に対応している。
			54%	46%	0%	100%		
（5）　安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。								
	①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	10	15	3	28	b	
			36%	54%	11%	100%		
	②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	12	13	3	28	b	コロナ対応に対しるマニュアルが十分ではない。
			43%	46%	11%	100%		
	③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	12	16	0	28	b	LINEワークスを導入し、緊急連絡時に使用。
			43%	57%	0%	100%		

2　養育・支援の質の確保

			自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
（1）　養育・支援の標準的な実施方法が確立している。								
	①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	17	11	0	28	a	
			61%	39%	0%	100%		
	②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	16	12	0	28	b	定期的に養育マニュアルの見直しを行っている。
			57%	43%	0%	100%		
（2）　適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。								
	①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	21	7	0	28	a	
			75%	25%	0%	100%		
	②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	21	7	0	28	a	
			75%	25%	0%	100%		
（3）　養育・支援の実施の記録が適切に行われている。								
	①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	15	13	0	28	b	
			54%	46%	0%	100%		
	②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	16	10	2	28	b	C:書類が紛失する事がある。
			57%	36%	7%	100%		

内容評価基準（23項目）Ａ－１　子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

			自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
（1）　子どもの権利擁護								
	①	A1　子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	26	0	2	28	a	徹底しているかと言われると不十分な面もある。
			93%	0%	7%	100%		
（2）　被措置児童等虐待の防止等								
	①	A2　子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	15	12	1	28	b	会議の時に不適切な関わりに関する話をしている。
			54%	43%	4%	100%		

Ａ－２　養育・支援の質の確保

（１）　養育・支援の基本		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A3　子どものこころによりそいながら、子どもとの愛着関係を育んでいる。	21	7	0	28	a	
		75%	25%	0%	100%		
②	A4　子どもの生活体験に配慮し、豊かな生活を保障している。	14	14	0	28	a	コロナのため体験の機会が少なくなっている。
		50%	50%	0%	100%		
③	A5　子どもの発達を支援する環境を整えている。	18	10	0	28	a	
		64%	36%	0%	100%		

（２）　食生活		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A6　乳幼児に対して適切な授乳を行っている。	10	18	0	28	b	枕授乳が多い。
		36%	64%	0%	100%		
②	A7　離乳食を進めるに際して十分な配慮を行っている。	16	11	1	28	b	Gリーダー・栄養士を中心に進めている。
		57%	39%	4%	100%		
③	A8　食事がおいしく楽しく食べられるよう工夫している。	18	10	0	28	a	
		64%	36%	0%	100%		
④	A9　栄養管理に十分な注意を払っている。	15	13	0	28	a	
		54%	46%	0%	100%		

（３）　日常生活等の支援		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A10　気候や場面、発達に応じた清潔な衣類を用意し、適切な衣類管理を行っている。	20	8	0	28	a	
		71%	29%	0%	100%		
②	A11　乳幼児が快適に十分な睡眠をとれるよう取り組んでいる。	17	11	0	28	a	
		61%	39%	0%	100%		
③	A12　快適な入浴・沐浴ができるようにしている。	15	13	0	28	a	人手の関係で日中に入ることが多かった。
		54%	46%	0%	100%		
④	A13　乳幼児が排泄への意識を持てるように工夫している。	16	12	0	28	a	
		57%	43%	0%	100%		
⑤	A14　発達段階に応じて乳幼児が楽しく遊べるように工夫している。	17	11	0	28	a	もっと遊びの工夫をしていきたい。
		61%	39%	0%	100%		

（４）　健康		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A15　一人ひとりの乳幼児の健康を管理し、異常がある場合には適切に対応している。	22	6	0	28	a	看護師業務の時間が足りない。
		79%	21%	0%	100%		
②	A16　病・虚弱児等の健康管理について、日常生活上で適切な対応策をとっている。	16	12	0	28	a	
		57%	43%	0%	100%		

（５）　心理的ケア		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A17　乳幼児と保護者等に必要な心理的支援を行っている。	13	15	0	28	b	
		46%	54%	0%	100%		

（６）　親子関係の再構築支援等		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A18　施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	19	9	0	28	a	FSWを中心に取り組んでいる。
		68%	32%	0%	100%		
②	A19　親子関係再構築等のため、家族への支援に積極的に取り組んでいる。	16	12	0	28	a	
		57%	43%	0%	100%		

（７）　養育・支援の継続性とアフターケア		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A20　退所後、子どもが安定した生活を送ることができるよう取り組んでいる。	7	19	2	28	b	退所後の家庭にどこまで関わりを持つかが難しい。
		25%	68%	7%	100%		

（８）　継続的な里親支援の体制整備		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A21　継続的な里親支援の体制を整備している。	12	16	0	28	b	里親訪問等支援事業を受託している。
		43%	57%	0%	100%		

（９）　一時保護委託への対応		自己評価結果			計		【判断した理由・特記事項等】
①	A22　一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	10	17	1	28	b	人員不足により受け入れが難しい時がある。
		36%	61%	4%	100%		
②	A23　緊急一時保護委託を受ける体制が整備され、積極的に受け入れを行っている。	14	14	0	28	a	
		50%	50%	0%	100%		